

北九州地区労連ニュース

2025年7月号 No. 225

連絡先 北九州市小倉北区黄金1-4-9-207号

Tel 093-921-0747 Fax093-921-0284

メール k_roren@kitakyushu-roren.sakura.ne.jp

ホームページ https://kitakyushu-roren.sakura.ne.jp/

解雇・残業代未払い・パワハラ
あきらめないで電話して下さい
秘密厳守 労働相談ホットライン
相談無料

TEL093-921-0747

メール k_roren@kitakyushu-roren.sakura.ne.jp

能登災害・すすまめ復興！

全国災対連・石川災対連・全労連は、能登半島地震・豪雨災害第11次ボランティアを呼びかけ6月28～29日の二日間で行い、過去最多の参加となる97名が参加しました。全教北九州の仲間も参加し、北九州メーデー実行委員会から義援金10万円を現地事務所に届けました。輪島市・羽咋市・珠洲市・穴水町・中能登町で作業に従事しました。

災害の皆さんが、生活できる状態にしようと声を掛け合い、連携して作業を進めました。

作業場に行く途中に通った「のと里山海道」では、一部地震による対面交通と道の歪みの中、40km/h走行区間がかなり続いており、未だに復旧までには長い時間を要しそうです。また、近くの甲漁港では、地盤沈下のため海水が越水して住宅近くまで入り込み、いまだに震災当時のままの爪痕が残っています。被災の甚大さと、まだまだ被災地の復興の遅れを目の当たりにしました。

地震から1年半、豪雨から9カ月がたった今でもブルーシートがかかる屋根や、倒壊寸前の家屋が移動中や羽咋市・穴水町でも多く見られました。公費解体のためなるべく荷物を処分しておいてくださいと書類に記載されている(強制力はあまりないのかもしれませんが)ものの、個人ではなかなか対応が難しい現実を垣間見ました。



輪島市では、3チームに分かれインシシ対策電線張りや泥上げ、土砂運び、仏具運びに取り組みました。穴水町では、からこ菜種取り作業、瓦割り、羽咋市・中能登町では、災害ゴミ出しや草刈り、災害家屋の片づけ、そして共同センターの事務所物の物資整理などに取り組みました。

参加者は連日の猛暑続きにもかかわらず、熱中症に注意しながら、作業を進めました。被

◆まだ必要なボランティア

昨年のボランティアでも活動した町野町の「もとやスパー」付近は特に復興が遅れていました。倒壊家屋がそのま

まで河川もとりあえず護岸の補強など、抜本的な対策になっていないようです。崖崩れで倒木もそのままで、今後激しい雨が降ると、また大被害が出てしまうのではないかと心配になりました。

2日間の作業終了後、現地の方より「地震と豪雨で大きな被害がありました。地震と水害で過疎化が進み人手が足りなくなっている。ボランティアさんに頼らないとこれまでできていた作業もできなくなっている。まだ何年かかるかわかりませんが、どうしても人手が足りない時にはまた協力してほしい。」とお話がありました。

今回の延べ走行距離は約200km、「災害ボランティア車両の高速道路の無料措置」を使って被災地を訪れました。これが最後かと思われましたが、あの光景を見ると「9月も行くか」とこの活動で知り合った方々と話して帰路につきました。



雨あがり

7月20日参議院選挙の開票日の夜、テレビでネーショングリークの試合と画面の下に表示される開票速報を見ながら、「選手たちは期日前投票に行ったのかな。」などと思いを巡らせていました。

今回は物価高対策で各党が論戦をかわし、終盤には外国人対策がクローズアップされるなどネットの世界も含めて関心はそれなりに高かったよう。投票率は前回を上回り58.51%。一方4割を超える有権者は棄権。うちの息子も受験生の時、冬の市議選では「そんな考えとる場合じゃない。」と棄権したつけ。そりゃ選挙の前に急に選べとってわからなないよね。でも普段から自分の生活につながる政治に関心を持っていれば投票する気になっていたのかも。労働組合でも同じだけど、家庭や職場での日常的な対話が大事。

今回与党は参院でも過半数以下となったけれど、物価高対策だけでなく、平和の問題や、選択制夫婦別姓は進むのか、医療や福祉の改善は止められるのか等々、有権者としてしっかりと見て話題にしていきたい

トランプ大統領の底なし軍事費要求

7月5日憲法共同センターは、小倉駅で憲法守れの署名行動を取り組みました。

今年は、戦後そして被爆80年の年となります。私たちは、今年こそ平和憲法を守り、大軍拡を止めさせ、市民の生活を応援する政治に変えたいと思います。

トランプ大統領が日本に対して防衛費が少なすぎる。もっと増やすべきだ、とGDP比3.5%を要求したと報道されています。

今すでに防衛費は8兆7千億円で教育費の倍となっています。GDP比3.5%であれば20兆円以上になります。これでは、消費税をすべて防衛費につぎ込んでも足りなくなります。

消費税減税について与党は、「財源がない。社会保障の財源だ」と反対しました。しかし、参議院選挙が近づくと参院選公約に「一律2万の給付、子ども・低所得者には4万円」と報道されました。バラマキの財源があるなら消費税減税も実現できるのでは、ないでしょうか。消費税減税を実現するために参議院選挙で政治を変えようと訴えました。

6月27日北九州空港に築



城基地からF2戦闘機が訓練でタッチアンドゴーを行ったと報道されました。九州各地で自衛隊のミサイル配置や住民の避難計画がすみ、まるで戦時体制下と思うような計画が進められています。

日本は、中国との共同声明で「台湾が中国の領土の不可分の一部である」ことを認め、「中国の立場を尊重する」としています。米国も中国の一部である」と米中共同声明で認めています。この共同声明通りであれば話し合いで平和を進めるべきです。

地区労連では、新しい大増税・大軍拡に反対する国会請願署名に取り組んでいます。組合員のみならず、よろしくお願いします。

女性の声で

政治を変える！



6月29日小倉駅でジェンダー平等、多様性社会を実現しようとする運動する「フェミニストアクション」の「選挙に行つて政治を変えよう」宣伝行動が行われました。

日本は、女性差別やジェンダー平等が遅れた国と言われています。

昨年、自公政権が衆議院で過半数割れし、夫婦別姓が国会で審議され、国や自治体の女性議員の数があまりにも少ない現状も取り上げられてきています。

「フェミニスト」と「ブリッジ」を合わせた造語で、生きづらさを抱える女性たちのブリッジ（架け橋）となり、男性中心の政治を変えようと70人の女性と応援する男性たちが「生きやすい社会に」「憲法を壊し、平和を揺るがす自公にNOを」など訴えました。

7月29日 2025年 火

18:00~20:00 17:30 開場 18:00 開演

健和会大手町病院 3階・講堂

北九州市小倉北区大手町13-1

Zoom併用 配信内容の撮影・録音等はご遠慮願います。

*講演の後、グループディスカッションを行います

申込方法 別紙の申込用紙に記入し、下記のファックスまたはメールで事務局までお送りください。

*会場かZoomでの参加かを必ずご記入ください。

*Zoom参加の場合、メールアドレスを必ずご記入ください。

*定員になり次第締め切りとさせていただきます。

第1次申込締切: 7月16日(水) 最終申込締切: 7月23日(水)

*参加費の500円は当日お支払いください。



おおつき くみこ
大槻 久美子 氏

公認心理師(国家資格)
キャリアコンサルタント(国家資格)
産業カウンセラー
(一般社団法人 日本産業カウンセラー協会認定)
認定心理士(公益社団法人日本心理学会認定)
THP指導者 心理相談員
(中央労働災害防止協会認定)
保護司

メカにて分析機器・産業機器等の設計・開発に携わる。しかし、過酷な労働時間・労働条件から過労による「身体表現性障害」を発症。その後、社内での大きな事件がきっかけで更に病状が悪化し「うつ病」となり就業不可能となり退職。2006年3月に京都で初の「身体表現性障害」による労災が認定される。発症を契機に「自分はこうしてこのような病気になるのか?」「私と同じようなことで苦しんでいる人を一人でもなくしたい」という思いから、カウンセラーを志すと同時に自分自身の体験をもとに講演活動やカウンセラー養成講座の講師を務める。2011年4月一般社団法人 カウンセリンググループ△BigSmile設立。(京都駅八条口 徒歩5分)現在に至る。現在、公認心理師・産業カウンセラー・キャリアコンサルタントとして、カウンセリング業務を主体にEAP事業(従業員支援プログラム)として企業・団体に向けてのメンタルヘルスサポート、また青少年育成のため引きこもり対策や社会復帰厚生支援等を行っている。2013年から全日本民医連厚生事業協同組合様との契約により、相談窓口の開設やメールマガジンの発行などを行っている。

北九州労健連 学習企画

ハラスメントをしない！

させない為には

問い合わせ先 北九州労働者の健康問題連絡会議 〒804-0094 北九州市戸畑区天神1丁目13-13

FAX 093-872-3695 rokenren@k-shaiken.jp 093-871-0449

安心して暮らせる 社会をめざして

6月21日小倉リーセントホテルで北九州市消費者団体連絡会の第46回総会が開催されました。開会あいさつで梅原代表幹事は、「九州工業大学生協で学生の生活を支えている。物価高騰で自炊する学生が増え、節約すぎの食事が就職後も続くと食の貧困が子どもにも受け継がれる可能性が高くなる。将来に向かって安心して生活できる社会を実現するため、消団連として運動を強めましょう」と訴えました。

◆人気の給食づくり

活動報告では、昨年8月の「家族でつくろう！学校給食の人気レシピ」の報告があり4組の家族13人がムーブで学校給食調理員の指導の下、「肉団子のカラフル甘酢あん」「ベーコン入り豆乳スープ」「キャベツのコールスロー」の3品目をつくり、楽しく賑やかに料理をし、給食の実情や無償化の話聞き充実した取り組みとなりました。

また、2017年から続く九州北部豪雨の被災支援活動では、5年ぶりのバス企画を2024年9月に開催し、日田彦山線BRT（バス高速運輸システム）

（ム）ひこぼしラインの乗車体験と朝倉市の山田堰見学、東峰村災害支援募金で寄せられたお見舞金の贈呈など有意義な取り組みも実施しました。

◆今こそ日本国憲法を世界に

トランプ大統領は、再び世界を混乱と不安に陥れています。もっとも注目されている話題は、あらゆる国への関税措置で、トランプ大統領の「アメリカファースト」実現のためなりの構わぬ発言をしています。石破首相は、「関税の撤回を求める」と国会で答弁しながら、その夜の日米首脳の話談では「遺憾」と述べるにとどまっています。さらに防衛費問題では、GDP比3%要求に見直しの可能性を示唆しています。総会決議、「現行憲法の原点に立ち返り、『武力でなく外交・交流で戦争の無い平和な社会』

『誰もが夢を追いかけられる社会』をつくりあげるため消費者者として力を発揮し、ともに行動していきましょう」の提案は、満場の拍手で確認されました。



折鶴を届けました！

福岡県労連の「おもいつなげ、思いを届ける千羽鶴アクション」を北九州地区労連として6月まで取り組み、北九州争議団共闘や地域一般の仲間、地区労連事務局で「千羽鶴を長崎に」の思いを込めて折った折鶴は、約二千羽を数えました。

6月27日に県労連本部を訪れ長崎に「平和への思いを込めて届けて」と託しました。



戦後80年 第30回

平和のための戦争展

in 北九州

日時 2025年 8月15日金・16日土・17日日
10時～17時（最終日16時）

場所 黒崎コムシティ（八幡西区黒崎/JR黒崎駅隣）

入場
無料

ご挨拶

戦後80年、「戦争の道」か「平和の道」か、私たちは歴史的な岐路に立たされています。

石破政権は、大軍拡・大増税を国民に押し付け、ひたすら「戦争の道」を突き進んでいます。私たちは、あの侵略戦争の反省から「2度と戦争はしない」と誓い、「そのために軍隊は持たない」と決め、この思いを憲法9条に込め、「不断の努力」によって「平和の道」を歩んできました。

憲法は、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意」し、軍隊やいっさいの戦力、国の交戦権まで放棄す

る平和国家の道を歩むことを宣言しています。

ひとりひとりが、歴史の真実へまなざしを向け、戦争の悲惨さと平和の尊さを学び合い、もう一度心に刻もうではありませんか。

憲法9条は輝いています。憲法9条こそ、アジアと世界の平和な未来を照らしています。私たちは、憲法を守り生かしていく「平和の道」を堂々と歩み、平和憲法を未来につなげていくことを決意するものです。第30回戦争展が、互いに歴史の真実を学び合い、平和をつくる力になることを確信しています。

8月15日金・16日土・17日日 3階市民ギャラリー

作品展示

- 北九州平和資料室TICO PLACE所蔵戦時遺品
- 原爆パネル ●広島原爆写真集 ●戦後80年731部隊の真実
- 福岡県反核医師の会 ●村瀬守保中国戦線従軍写真展
- 北九州にあった「捕虜収容所」 ●「平和の美術」展示作品集
- 日常の隣で進む戦争の準備 ●高校生の描いた原爆の絵
- パレスチナの歴史と現状 ●9条の碑 ●戦争と炭鉱労働



労働法コラム 第124

職種を限定して採用された労働者の配置転換



黒崎合同法律事務所

田邊 匡彦 弁護士

1 XはYとの労働契約に基づき、Yの福祉用具センターにおいて、福祉用具の改造・製作、技術の開発を担当する技術職として勤務していた。Xは同センターの技術職として18年間勤務し、同センターにおいて溶接ができる唯一の技術者であった。

2 Yは、同センターにおける福祉用具改造・製作業務の廃止の方針を決定し、Xに対し、総務課の施設管理担当への配置転換命令をした。Xはこの配置転換命令は無効であるとして、Yに対し、債務不履行または不法行為に基づく損害賠償等を求めて提訴した。Xの請求は認められる

しょうか？

3 結論からいえば、このような配置転換命令は無効であるといえます。1審2審は「福祉用具の改造・製作業務の廃止によりXを解雇するという事態を回避するため、他業務に転換を命じることに業務上の必要性があり、甘受すべき程度を超える不利益をXにもたらすことまでは認められないこと等から、本件配置転換命令をもって権利濫用ということではできない」として、Xの当該請求部分を棄却しましたが、最高裁で逆転勝訴しています「滋賀県社会福祉協議会事件（RO6・04・26最二小判）」。

4 具体的には「労働者と使用者との間に当該労働者の職種や業務内容を特定のものに限定する旨の合意がある場合には、使用者は、当該労働者に対し、その個別的同意なしに当該合意に反する配置転換を命ずる権限を有しないと解される。」「XとYとの間には、Xの職種及び業務内容を本件業務に係る技術職に限定する旨の本件合意があったというのであるから、Yは、Xに対し、その同意を得ることなく総務課施設管理担当への配置転換を命ずる権限をそもそも有し

ていなかったものというほかない。」とし原審に差し戻されました。

5 最高裁判決によって、本件のような場合は、強制的に配置転換されないことが明確になりましたが、配置転換に應じない場合、どのようなときに解雇や変更解約告知（一定の雇用条件を挙げ、それに応じなければ解雇する旨の告知）が有効になるのか等の問題は残ります。

6 なお、令和6年4月以降は、労働基準法規則の改正により、労働条件の明示に関し「勤務内容と勤務場所の変更の範囲」を明示することが必要とされています。

配置転換後の部門では体調に支障が出る！

以前の部署に戻してくれ！

従業員

従来の業務につけないなら、別の部署に異動してください！

無理なら辞めてください！

使用者

熱中症対策を早急に

7月8日市職労は、教育委員会と交渉を行いました。

校務員・調理員部会の交渉回は、働く環境改善のために3月に要求書を提出していました。

職場における死亡災害で熱中症が他の災害に比べ5倍以上の死亡割合となっています。死亡者の約7割が屋外作業であるため、労働安全衛生規則が見直され、6月1日から「職場における熱中症対策の強化について」の規則が施行されました。

調理員部会では、屋内調理ですが門司特別支援校がエアコンは設置されているが、場所が悪く冷える箇所が限られている。下処理室はエアコンもない。と改善を求めました。

教育委員会は、「調査したい。北特支が立替でエアコンを移設できないか、検討したい」と改善に向け、検討を約束しました。

校務員部会では、草刈りや植栽の手入れなど屋外での作業が多く、熱中症対策を求めています。そのなかで「ファン付きベスト」など要求し、「学校予算内で購入できる」ことを各学校に教育委員会から通達できていますが、予算不足で購入で

きていない学校もありました。今年は、梅雨明けが早く、6月16日から22日まで熱中症による救急搬送件数は、8603件と急増しています。福岡県では、2066件で昨年同時期73件の倍以上になっています。

夏休みが近づいていますが、学童保育やスポーツ活動での運動場使用もあり、子どもたちの安全のためにも熱中症の異変に気付くことや対策を知ることが必要です。

各学校の校長は、「熱中症に気を付けて」とは、言うが実際に熱中症になった場合、どう対応するのか具体的な話はない。校務員の作業室は、エアコンがないところが多い。法的な改正に基きマニュアル作りや熱中症に対する具体的な対応を周知することが、子どもたちの安全にもつながる、と要求しました。

教育委員会は、「スポットクーラーなど検討したい。熱中症対策の研修も検討したい」と応えました。

